



大原 功 議員  
無会派

# 問 農地転用違反の早期是正を！

## 答 県との連携強化で対応



▲農地転用が進む市南部地区 平成28年8月10日撮影

**問** 市内27件の転用違反があるが市の認識は。

**答** (市長) 農地パトロールで報告されたものは、26件であり、既に是正通知を発している。

**問** 26件に含まれていない1件を告発できないのか。

**答** 県と連携し制度に沿って対応していく。

**問** この1件が操業している中で、近隣に健康被害が考えられるが。

**答** 調査して対応する。

**問** なぜ転用違反を放置するのか。市民の安心安全のためにも早期対策を。

**答** 引き続き県と連携し対応していく。

**問** 転用違反者の納税放置に対し、貧困で国保税を払えない市民への収納対応が厳しいのでは。

**答** 税の公平性から、県の機構とも連携し、適切な収納に努める。

**問** 中学2年生、広島研修費1600万円減額により中止され、その後復活した経緯は。

**答** (市長) 平和教育は、大切な教育であり、また多感な中学2年生にとって大切な教育であると再認識し

<b>問</b>	縮減予算の理由は
<b>答</b>	財政に対する認識不足

**問** 長島温泉で実施される敬老会と5月に実施されるごみゼロ運動を無くした理由は。

**答** 財政調整基金を減らさないよう新年度予算を編成してしまっただためである。敬老会事業は、市民や議員の意見を聞きながら方向性を決めていく。

**問** ごみゼロ運動は、地域環境美化活動の一環で今後も継続したい。

**答** 第2次弥富市基本構想の前期基本計画は尊重すべきと考え直した。



▲各地区で実施されるごみゼロ運動